

# FLAT DRY

フラットドライ® FD-502F1

## 取扱説明書 保証書付

このたびは **フラットドライ®** をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。  
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。  
裏表紙の保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。



### 目次

- 特長 . . . . . 2
- 付属品 . . . . . 2
- 各部の名称 . . . . . 2
- ご使用前の準備 . . . . . 2・3
  - ・製品の設置方法
  - ・棚受けの設置方法
  - ・棚押さえ金具の取り外し方法
  - ・デジタル温湿度計の表示方法
- ご使用方法 . . . . . 4
  - ・中央支柱の脱着方法
- 電子ドライユニットのしくみ . . . . . 4
- ご使用に関する注意点 . . . . . 4
- 移動・運搬時のご注意 . . . . . 5
- お手入れ方法 . . . . . 5
- 故障かな?と思ったら . . . . . 5
- 安全上のご注意 . . . . . 6
- 仕様 . . . . . 7
- 保証書 . . . . . 裏表紙

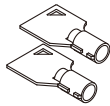
## 特長

- **フラットドライ®** は除湿ユニットと加湿ユニットで庫内湿度を一定に保つ恒湿保管庫です。
- 保管物をカビ・ホコリ・虫食い・ヒビ割れ・変形などから守り、長期間安心して保管できます。
- 保管例：楽器・美術品・古文書・絵画・掛軸・証書・賞状など。

## 付属品



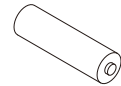
保証書 (本書の裏表紙)



鍵×2

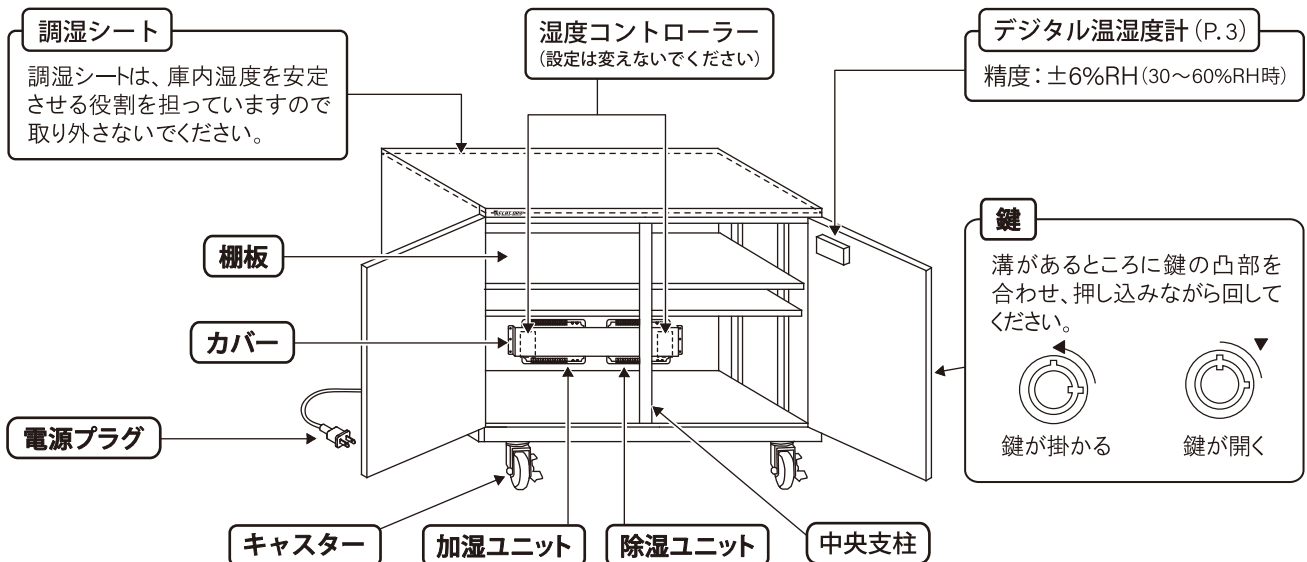


スペーサー  
(調整用板) ×4



デジタル温湿度計用  
単3電池 (テスト用)

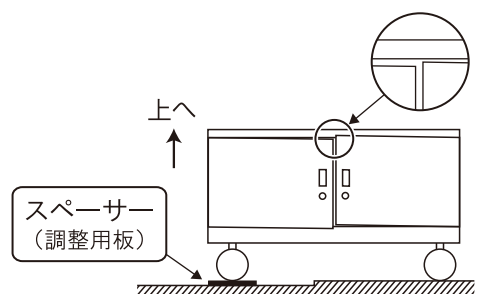
## 各部の名称



## ご使用前の準備

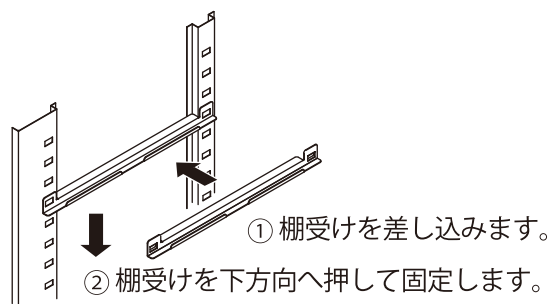
### 製品の設置方法

- 水平で、製品の重量に十分耐えられる場所を選んでください。
- 水平に見える場所でも、わずかな凹凸のために扉がずれることがあります。  
その場合は、キャスター下に付属のスペーサー (調整用板) を挟んで調整してください。
- 本体側面と壁、背面と壁は2cm以上の空間を設けてください。  
キャビネットの上方には5cm以上の空間を設けてください。
- 横倒し・あお向けには設置しないでください。
- 次のような場所には設置しないでください。
  - ・ エアコンの風が直接当たる場所
  - ・ 日の当たる場所
  - ・ 熱器具の近くなど温度が上がる場所
  - ・ 不安定な場所
  - ・ 油煙や湯気が当たる場所
  - ・ ほこりの多い場所



## 棚受けの設置方法

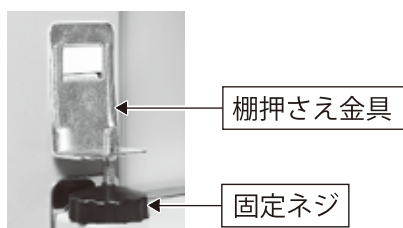
棚は棚受けを上下に移動して、お好みの位置でご使用いただけます。



## 棚押さえ金具の取り外し方法

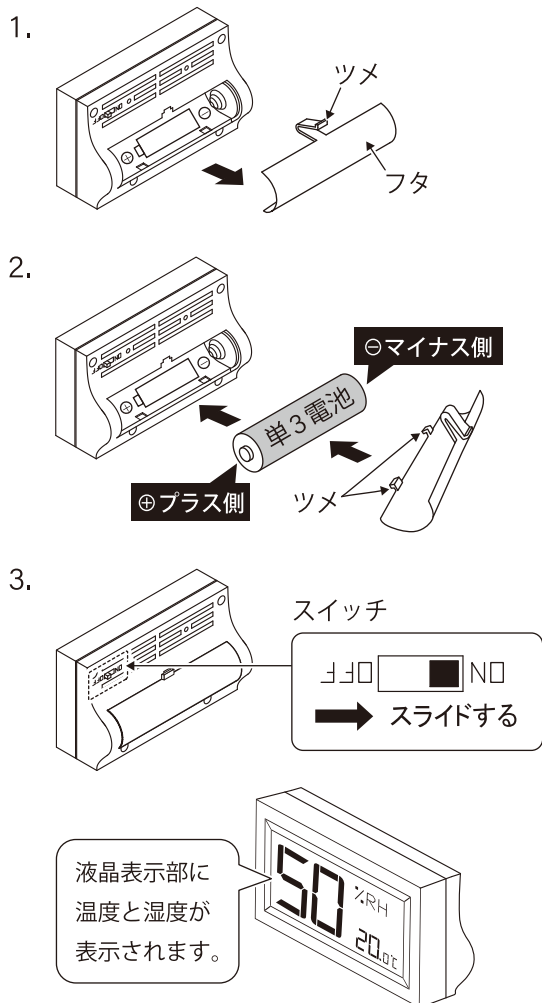
棚押さえ金具と固定ネジは輸送中の棚板落下防止用です。

取り付けたままご使用いただいても問題はありません。



- ① 固定ネジを上から見て反時計回りに回してください。
- ② 固定ネジと棚板の間に隙間が生じましたら、棚押さえ金具を取り外してください(棚1枚につき4ヶ所)。

## デジタル温湿度計の表示方法



湿度計の裏側にあるツメを押し下げながらフタを外します。

⊕ ⊖ の向きを確認して単3電池を収納しフタの下側のツメ2箇所を入れてから上側のツメがカチッというまで押し込んでフタを閉めます。

裏側にあるスイッチをスライドしてONにします。

### 【注意点】

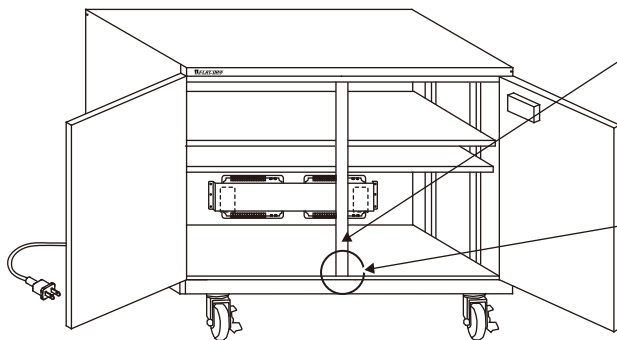
- デジタル温湿度計の精度は、30~60%RHのとき±6%RHです。
- 液晶表示はその特性上、数年で表示が薄れることがあります。
- 付属の電池はテスト用のため消耗が早い場合があります。
- ご使用の際は、必ず新品のアルカリ電池またはマンガン電池をご使用ください。充電式電池を使用すると正常に表示されない場合があります。

## ご使用方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込むだけで、庫内湿度を40～60%RHに調節します。
2. 目標湿度になるまで空の状態で作動してください。
3. 湿度が安定しましたら、保管物を入れてご使用ください。  
湿度コントロールダイヤルは出荷時に調整済ですので、基本的には設定を変えないでください。

### 中央支柱の脱着方法

長い物を収納する際に  
中央支柱を外すことができます。



#### 中央支柱

- ①中央支柱の下側をつかみます。
- ②手前に引っ張ると外れます。

扉を閉める時には必ず支柱を元の位置に戻してください。中央支柱がないと除湿効果に支障をきたします。

#### ボールキャッチ

中央支柱の裏にあります。



調節ネジ 右(時計回り)方向 → 締まる  
左(反時計回り)方向 → 緩む

## 電子ドライユニットのしくみ

- 庫内の湿度が上昇し目標湿度の範囲を上回ると除湿ユニットが作動し、通電ランプが赤く点灯します。  
庫内の湿度が低下し目標湿度の範囲を下回ると加湿ユニットが作動します。  
庫内が適切な湿度になると、ユニットは作動を停止します。
- 庫内が適切な湿度の時は、通電状態でもどちらのユニットも作動しません。
- 作動し始める湿度は設置環境によって異なります。

## ご使用に関する注意点

- 保管物を庫内に入れると、一時的に庫内の湿度が変動する場合があります。
- 庫内が目標湿度で安定するまでに1～2日かかる場合があります。  
特に布類・紙類・湿気を含む物を入れると、湿度が安定するまでに1週間以上かかる場合があります。
- ユニット作動中はユニット及びその周囲が熱くなりますが、異常ではありません。
- まれに水蒸気がユニットに付着することがありますが、異常ではありません。
- ユニット作動の前後は、目標湿度の範囲に入らないことがあります。
- 加湿ユニット作動後は一時的に湿度が高く表示されることがありますが、異常ではありません。
- 設置場所の周囲環境(冷暖房や昼夜の温度差)により、庫内湿度が変化することがあります。  
設置場所の温度が上がると湿度は下がり、温度が下がると湿度は上がります。
- 温度調節機能はありません。
- 週に一度は庫内の湿度が安定していることをご確認ください。

## 移動・運搬時のご注意

- 電源プラグを抜いてください。
- 庫内に入っている物をすべて取り出してください。
- 棚を取り出していただくか、棚や扉をテープで固定してください。
- 本体を持って移動・運搬してください。扉を持つと破損・故障の原因になります。

## お手入れ方法

- 柔らかい布で乾拭きしてください。  
特に汚れが気になる場合は、水で少し湿らせた布で汚れを軽く拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。  
【注意点】 市販の洗剤やOAクリーナー・ベンジン・シンナー・アルコール・コンパウンド・ウエットティッシュなどは塗装面を傷めたり、傷が付く可能性がありますので使用しないでください。  
また、化学ぞうきんを使用するときは強くこすらず、その注意書きに従ってご使用ください。
- 月に一度は下記をご確認ください。  
10年以上ご使用いただいている場合は、安全のため確認頻度を増やしてください。
  - 電子ドライユニット本体に変色がないこと。
  - 背面の放熱口にホコリが溜まっていないこと。
  - 電源コードに亀裂や擦り傷がないこと。
  - コンセントにホコリが溜まっていないこと。

## 故障かな？と思ったら（修理をご依頼される前にご確認ください）

——— まず、電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていることをご確認ください。 ———

### 設定湿度にならない

- 運転開始後、目標湿度になるのに数時間～数日かかります。
- ユニット作動の前後は目標湿度を外れることがあります。
- 数日以上経過しても目標湿度にならない場合は弊社までご連絡ください。
- 周囲条件(P.7)から外れた環境でお使いの場合目標湿度にならないことがあります。

### 除湿／加湿ユニットが熱くなる

- 乾燥剤に吸着している水分を放出させるためですので、異常ではありません。

### デジタル温湿度計に表示が出ない

- 新しい電池にご交換ください(単3電池1本使用)。

### 電源プラグをコンセントに差し込んでも動作しない


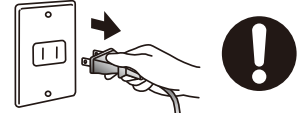

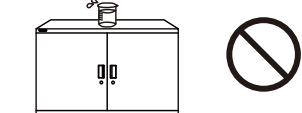
- すでに庫内が適切な湿度の場合、ユニットは作動しません。


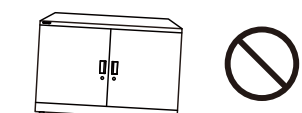
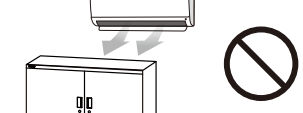

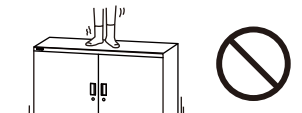
チェック項目をご確認いただき故障と思われる場合や、異常が発生した時はすぐに電源プラグをコンセントから抜いて本社サービス部(TEL:045-841-5511)にご相談ください。

# 安全上のご注意

——— 安全にお使いいただくために必ずお読みください。図記号の意味は、下記の通りです。———

 <b>警告</b> 死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	 <b>注意</b> 障害や物的損害を発生する可能性のあるもの
 <b>禁止</b> 絶対に行わないでください。	 <b>指示</b> 必ず指示に従い、行ってください。

 <b>警告</b>			
電子ドライユニットの異常時(煙が出る・こげ臭いなど)には電源プラグを抜く。	電子ドライユニットの修理・分解・改造をしない。	電子ドライユニットに異物を入れたり、ふさいだりしない。	水のかかる場所、湿気の異常に多い場所、ほこりの多い場所に置かない。
			
火災・感電の原因	火災・感電・けがの原因	感電・けがの原因	火災・感電の原因
電源コードを引っ張る、傷つける、物を載せる、加工する、高温部に近づけたりしない。	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。	長期間使用しないときは電源プラグを抜く。	電源プラグにほこりをためない。
			
発火・感電の原因	感電の原因	火災・発火の原因	火災・発火の原因
電源コードを束ねて使用したり、タコ足配線しない。	交流100Vで15A以上のコンセントを単独で使用する。奥までしっかりと挿入する。	危険な物(爆発物・可燃性物質・揮発性・引火性のある物・強酸性の薬品)は入れない。	水の入った容器を置かない。
			
火災・発火の原因	火災・発熱の原因	爆発・火災・感電の原因	火災・感電の原因

 <b>注意</b>			
不安定な場所に置かない(ガタつくときはスペーサーで調整してください)。	エアコンなどの風が当たる場所、温度変化の激しい場所、直射日光の当たる場所に置かない。	塩酸・硫酸など強酸性の薬品は入れない。	キャビネットの上に乗ったり、重い物を載せたりしない。
			
けがの原因	製品の性能が安定しない原因	腐食の原因	けが・変形の原因

# 仕様

型名		FD-502F1
性能		安定時：40～60%RH
周囲条件		温度：20～30℃、湿度：30～70%RH
除加湿方式		乾式吸着除湿・加湿方式 (全自動一定時間吸着・再生サイクル方式)
外寸		W1200 × H914 × D687 mm
内容量		490 ℓ
重量		85 kg
定格電圧		AC100V (50/60Hz)
定格消費電力	除湿時	28 W
	加湿時	50 W
キャビネット材質		本体・棚：スチール(粉体焼付塗装)
扉材質		スチール(粉体焼付塗装)・マグネット式
棚耐荷重(分散荷重)		100 kg/枚
装備		デジタル温湿度計、スチール棚×2、調湿シート×4